NIE

年　組　名前

道新でワークシート

美瑛・クリスマスツリーの木前 規制初日

「駐車禁止」響かぬ訪日客

交通整理の警備員疲弊■道端に服脱ぎ捨て撮影

【美瑛】道内有数の観光スポット「クリスマスツリーの木」周辺の町道で旭川東署による駐車禁止の規制が始まった30日、訪日客らに対する警察官の声かけで、一時的に駐車が減る場面はあったものの、規制区域に駐車列は絶えず、多くの人でごった返した。オーバーツーリズム（観光公害）に直面する現場に密着した。

「デンジャー（危ない）！」。拡声器を持った警備員の声が響きわたった。韓国語のワンフレーズも何度も繰り返される。警備のために覚えた「どけて、車が通るよ」の意味だという。

雪原の中に立つ「クリスマスツリーの木」は韓国人に特に人気の観光スポット。木を眺められる幅約6・5㍍の町道近くには、観光バスの乗降場があり、大型バスが次々とやってきては一度に50人ほどの団体客を降ろしていく。30分ほどたつと再びバスが迎えに来て、観光客が立ち去る。ピークとなった午前11時近くや午後1時すぎには、町道の約300㍍ほどの区間に常時200人ほどがひしめいていた。

訪れた人たちは写真撮影に熱中している。白のダウンジャケットやズボン、水色のセーターやマフラーといったコーディネートの韓国人観光客が目立った。ツアーガイドが「インフルエンサーが交流サイト（SNS）で風景をアップして注目を集めている。雪に映えるとの理由で白や水色の服を着て撮ることも流行している」と教えてくれた。

珍しい光景にも出くわした。何人もの若者が着ていたコートを道端や雪原に脱ぎ捨てているのだ。雪が降りしきる中、ミニスカートやヘソを出した服装でポーズを決めて、写真に収まっていた。

韓国からのツアー客の多くは、朝札幌を出発し、その日のうちにまた札幌に戻るという。「夜はスキノで楽しみます。美瑛にお金を落としていないのは申し訳ない」とガイドは話した。

この混雑する約300㍍の区間を30日から1カ月間の駐車禁止としたものの、警察官が常駐することもない現場で効果は限定的。多い時には20台ほどがずらりと車列をつくった。乗用車1台が通るのがやっとの狭さで、車が通り抜けようとするたびに、クラクションが鳴り響く。

午後、通りかかった大型トラックの右前のタイヤが、駐車列を避けようとして路外に滑り落ちた。走行不能になり、トラックを降りてきた男性は「初めて通る道でこんなに車がいるとはわからなかった」と困り顔。40分間通り抜けができなくなり、バスやレンタカーのクラクションが鳴り響いた。警備員の助けを借りながら自力で脱出した。

午前中には観光バスが密集する観光客を避けようとして駐車禁止の仮設標識の脚を踏み、標識が傾いてしまう場面もあった。

午後3時半、交通誘導をしていた警備員のAさん(67)が交代の時間になった。この日は午前9時から立ちっぱなし。言葉が通じない中、休みなく「バスが通ります」などと拡声器で声を張った。「忙しくてトイレにも行けなかった」。オレンジ色の夕日がクリスマスツリーの木と雪原を幻想的に照らす中、疲れ切った表情を見せた。

町観光協会は31日から警備員を2人増やして計4人体制にする。同協会担当者は「毎日やり方を考えながら住民生活と観光の両立を目指したい」と混乱の現場を後にした。（山中悠介、葉柴陵晴）

たくさんの観光客と車で埋め尽くされる町道。右手の雪原に「クリスマスツリーの木」が立っている

クリスマスツリーの木前の道路で交通整理を行う警備員（左手前）

道路に三脚を立て、写真を撮る観光客（いずれも熊谷洸太撮影）

年　　組　　名前

道新でワークシート

① 最近、多くの外国人観光客が日本の特定の観光地を訪れています。
そのきっかけの一つを記事から読み取りましょう。

② 多くの外国人観光客が訪れることにより、日本にとってどのようなプラスの影響があるでしょうか。

③ 記事にあるオーバーツーリズム問題を解決するために、どのような取り組みを行ったらよいと思いますか。